

札幌市下水道改築 基本方針

～下水道施設を次世代へ引き継ぐために～

札幌市下水道河川局

改定にあたって

札幌市が下水道整備に取り組み始めたのは1926年（大正15年）であり、2026年（令和8年）には100周年の大きな節目を迎えます。

現在、下水道は、普及率99.8%に達し、管路延長約8,300 km、水再生プラザやポンプ場等の処理施設30か所にもものぼる膨大な施設により、安全で快適な市民生活や都市活動を支える重要なライフラインとなりました。

これらの下水道施設は、戦後の急激な人口増加に伴う環境整備や札幌冬季オリンピック開催を契機として短期間に集中して整備されているため、老朽化も集中します。

そこで、下水道河川局では、計画的に施設の改築を進めるため、2015年（平成27年）3月に「札幌市下水道改築基本方針」を策定・公表したところです。

今回、本方針に基づき事業を実施してきたことで、新たに蓄積した維持管理データを踏まえ、将来必要となる改築事業量の見通しを精査するとともに、2022年（令和4年）3月に策定した「札幌市下水道処理施設再構築方針」と一体化を図り、改定いたしました。

これからの下水道事業は、急増する老朽化施設の改築に加えて、将来の人口に見合った施設規模への見直しやゼロカーボン社会実現への貢献など、様々な社会ニーズに対応していかなければなりません。

改築基本方針を市民や民間事業者の皆様にも広く認識していただき、改築事業に対するご理解とご協力を得ながら、これまで築き上げてきた札幌市の下水道を次の100年先の未来へと繋いでいきたいと考えています。

2024年（令和6年）3月

札幌市下水道河川局長 **小泉 正樹**

第1章 はじめに 1

- 1 改定の目的 1
- 2 位置づけ 3

第2章 施設の老朽化の現状 4

- 1 管路施設の現状 5
- 2 処理施設の現状 6

第3章 施設の改築に係る基本方針 7

第4章 改築の考え方と事業費の長期見通し 9

- 1 管路施設 9
 - (1) 本管 9
 - (2) 取付管 14
- 2 処理施設 15
 - (1) 土木・建築構造物 15
 - (2) 機械・電気設備 19

第5章 まとめ 21



札幌市下水道キャラクター
クリンちゃん

- 1 改築の考え方 21
- 2 改築に係る総事業費の長期見通し 21
- 3 フォローアップ 22